



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月18日

上場会社名 株式会社ジャムコ 上場取引所 東
 コード番号 7408 URL <https://www.jamco.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大喜多 治年
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 後藤 健太郎 (TEL) 042-503-9145
 定時株主総会開催予定日 2020年6月25日 配当支払開始予定日 2020年6月26日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	91,535	8.9	1,807	△58.2	1,178	△64.2	605	△68.3
2019年3月期	84,068	8.1	4,321	△3.2	3,290	△6.1	1,910	13.6

(注) 包括利益 2020年3月期 219百万円(△89.4%) 2019年3月期 2,071百万円(9.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	22.59	—	2.0	1.1	2.0
2019年3月期	71.23	—	6.5	3.3	5.1

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 △11百万円 2019年3月期 △52百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	120,184	30,373	24.8	1,112.58
2019年3月期	102,980	30,715	29.3	1,124.82

(参考) 自己資本 2020年3月期 29,844百万円 2019年3月期 30,173百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	△11,285	△2,570	16,953	7,167
2019年3月期	9,365	△1,944	△5,828	4,046

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00	536	28.1	1.8
2020年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00	536	88.6	1.8
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。今後、連結業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現時点で合理的に算定することが困難であることから、未定としております。今後、連結業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	26,863,974株	2019年3月期	26,863,974株
② 期末自己株式数	2020年3月期	38,932株	2019年3月期	38,832株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	26,825,073株	2019年3月期	26,825,183株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	83,528	9.3	1,707	△45.0	1,580	△37.7	1,039	△48.9
2019年3月期	76,447	15.5	3,104	4.2	2,537	9.9	2,034	29.1
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期	38.73		—					
2019年3月期	75.85		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	106,949	29,690	27.8	1,106.82
2019年3月期	91,132	29,300	32.2	1,092.26

(参考) 自己資本 2020年3月期 29,690百万円 2019年3月期 29,300百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、添付資料4ページに記載の「1.(4)今後の見通し」をご覧ください。

当社は、2020年5月に機関投資家向け説明会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止いたします。この説明会で使用予定していた決算説明資料につきましては、当社コーポレートサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(会計方針の変更)	14
(表示方法の変更)	14
(連結損益計算書関係)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	21
(重要な後発事象)	21

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度は、米中通商問題や英国のEU離脱をめぐる混乱への懸念などにより、景気の減速感が高まる中、第4四半期に入り、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、世界経済は一段と厳しい状況となりました。このようななかで、ドル円為替相場は対米ドル円レート112円台前半から103円台前半で推移しました。

航空輸送業界では、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大の影響で、各国において渡航禁止令が発出されるなど、それまで堅調であった旅客需要が急激に減少し、経営環境は大きく悪化しました。又、航空機メーカーにおいても、航空需要の急激な落ち込みにより、ボーイング、エアバス共に大幅な減産が計画される状況になりました。

こうしたなか当社グループでは、航空機内装品等製造関連・航空機シート等製造関連においては、2019年3月26日に公表しました不適切な品質事案に対して、原因究明・安全性の検証を行なうと共に是正・再発防止に取組み、より高いコンプライアンス・品質意識への変革を進めました。

航空機器等製造関連においては、生産性改善に取組むと共に、これまで培った金属加工技術を生かし、内装品やシート部品の内製化を進めました。

航空機整備等関連においては、飛行安全の確保と品質向上の取組みを継続すると共に、エアライン向け機体整備の拡大に努めました。

この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高 91,535百万円（前期比 7,467百万円増）、営業利益 1,807百万円（前期比 2,513百万円減）、経常利益 1,178百万円（前期比 2,112百万円減）、親会社株主に帰属する当期純利益 605百万円（前期比 1,304百万円減）となりました。

なお、当連結会計年度末に次期以降の完成工事に対する工事損失引当金を 3,607百万円計上しています。この工事損失引当金による期間損益への影響は、当第4四半期連結会計期間において売上原価 460百万円の減少（第3四半期連結累計期間末の工事損失引当金は 4,068百万円）、又、当連結会計年度においては売上原価 173百万円の減少（前連結会計年度末の工事損失引当金は 3,781百万円）となりました。

グループ全体の販売費及び一般管理費、営業外損益、特別損益の状況は次のとおりです。

販売費及び一般管理費は、保証工事費、販売手数料の減少などにより 8,636百万円（前期比 684百万円減）となりました。

営業外損益は、支払補償費の減少はありましたが、前連結会計年度末よりも為替相場が円高で推移して為替差損益が悪化するなどにより 629百万円の損（前期は、1,030百万円の損）となりました。

特別損益は、賠償保険により品質事案に係る受取保険金 60百万円を計上しましたが、品質関連損失などにより、279百万円の損（前期は、263百万円の損）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

[航空機内装品等製造関連]

当事業では、新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大するまでは堅調であった航空需要を背景に製品の出荷が進み、前期に比べ売上高は増加しました。一方、経常利益については、売上高増加の影響があったものの、不適切な品質事案への対応により一時的に発生した出荷遅延の改善に伴う人件費及び輸送費用などの増加に加え、前期における採算性の良いプログラムの出荷による反動や、為替差損の発生などにより前期に比べ減少しました。

この結果、航空機内装品等製造関連は、売上高61,078百万円（前期比 4,209百万円増）、経常利益 3,107百万円（前期比 3,005百万円減）となりました。

[航空機シート等製造関連]

当事業では、当連結会計年度より出荷を開始したビジネスクラス・シート「Venture」の出荷が進み、前期に比べ売上高は増加しました。一方、経常損益については、売上高増加の影響があったものの、不適切な品質事案の対応として一時的に株式会社宮崎ジャムコにおける生産を停止し、生産拠点の振替を行ったことに伴う追加費用に加え、一部プログラムの生産性改善の遅れによるコスト増加などにより経常損失となりました。

この結果、航空機シート等製造関連は、売上高15,994百万円（前期比3,818百万円増）、経常損失2,499百万円（前期は、経常損失 3,143百万円）となりました。

[航空機器等製造関連]

当事業では、熱交換器等装備品や炭素繊維構造部材の出荷は堅調であったものの、航空機エンジン部品の一部出荷が次期以降に繰り延べられたことにより前期に比べ売上高は減少しました。又、経常利益については、売上高減少などにより前期に比べ減少しました。

この結果、航空機器等製造関連は、売上高 6,333百万円（前期比 264百万円減）、経常利益 6百万円（前期比 104百万円減）となりました。

[航空機整備等関連]

当事業では、機体整備及び装備品整備において一部出荷が次期以降に繰り延べられたことなどにより前期に比べ売上高は減少しました。一方、経常利益については、エアライン向け機体整備が堅調に増加したことにより採算性が向上し、前期に比べ増加しました。

この結果、航空機整備等関連は、売上高8,129百万円（前期比 296百万円減）、経常利益 567百万円（前期比 357百万円増）となりました。

[その他]

その他の区分には、連結子会社の株式会社オレンジジャムコの事業を含んでおり、航空機内装品等製造関連の補助作業等セグメント間の内部取引が中心で、順調に進めることができました。

この結果、その他の区分では、売上高 0百万円（前期比 0百万円増）、経常損失 4百万円（前期は、経常損失 0百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産合計は 120,184百万円となり、前連結会計年度末に比べ 17,203百万円増加しました。内、流動資産については、受取手形及び売掛金の増加（前期比 9,327百万円増）、材料及び貯蔵品の増加（前期比 4,296百万円増）、現金及び預金の増加（前期比 2,868百万円増）等により流動資産合計で前連結会計年度末に比べ 17,130百万円増加しました。又、固定資産については、固定資産合計で前連結会計年度末に比べ 73百万円増加しました。

負債合計は 89,811百万円となり、前連結会計年度末に比べ 17,545百万円増加しました。主な要因は、前受金の減少（前期比 2,030百万円減）等がありましたが、短期借入金の増加（前期比 18,982百万円増）、支払手形及び買掛金の増加（前期比 2,573百万円増）等によるものです。

純資産合計は 30,373百万円となり、前連結会計年度末に比べ 341百万円減少しました。主な要因は、為替換算調整勘定の減少（前期比 163百万円減）、退職給付に係る調整累計額の減少（前期比 122百万円減）等によるものです。この結果、自己資本比率は24.8%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の増減は、以下に記載のキャッシュ・フローにより、前連結会計年度末に比べ 3,121百万円増加しました。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、11,285百万円のキャッシュ・アウトフローとなり、前連結会計年度に比べ 20,650百万円収入が減少しました。これは、売上債権の増加、前受金の減少による収入の減少等によるものです。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、2,570百万円のキャッシュ・アウトフローとなり、前連結会計年度に比べ 626百万円支出が増加しました。これは、有形固定資産の取得による支出等によるものです。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、16,953百万円のキャッシュ・インフローとなり、前連結会計年度に比べ 22,781百万円収入が増加しました。これは、金融機関からの借入金によるものです。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症拡大の今後の行方は予測できないことに加え、感染症の影響により世界経済は厳しい状況が続くことが見込まれています。

当社グループが関連する航空輸送業界では、感染症の影響により各国の渡航禁止令などによる旅客需要の急減を受け、世界のエアラインの経営環境は大きく悪化しており、又、航空需要の急減を受け、航空機メーカーは大幅な減産を余儀なくされています。

航空輸送業界の動向が直接的に影響する当社にとって、感染症の終息時期が不明な現時点では、業績予想の合理的な算定が困難であることから2021年3月期の連結業績予想については未定とさせていただきます。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

又、2021年3月期の配当金につきましても、現段階では未定としており、業績予想の開示が可能となった段階で、業績予想とあわせて速やかに公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を勘案の上、慎重に検討を進めていく予定です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,822,330	8,690,990
受取手形及び売掛金	22,571,490	31,898,770
商品及び製品	2,240,670	1,422,398
仕掛品	30,282,883	30,328,978
原材料及び貯蔵品	16,203,864	20,500,595
未収消費税等	317,124	520,946
その他	3,167,196	4,378,388
貸倒引当金	△3,388	△8,504
流動資産合計	80,602,172	97,732,564
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,071,923	19,283,085
減価償却累計額	△12,053,348	△12,519,980
建物及び構築物(純額)	7,018,575	6,763,105
機械装置及び運搬具	10,246,336	10,358,913
減価償却累計額	△8,160,499	△8,367,749
機械装置及び運搬具(純額)	2,085,837	1,991,164
土地	3,449,025	3,440,275
リース資産	596,572	1,060,811
減価償却累計額	△351,367	△454,797
リース資産(純額)	245,204	606,013
建設仮勘定	90,544	130,138
その他	7,380,799	7,991,862
減価償却累計額	△6,281,666	△7,156,519
その他(純額)	1,099,133	835,343
有形固定資産合計	13,988,321	13,766,040
無形固定資産		
ソフトウェア	970,542	1,245,678
リース資産	683,148	605,706
その他	96,559	147,736
無形固定資産合計	1,750,249	1,999,120
投資その他の資産		
投資有価証券	552,301	453,439
長期前払費用	66,942	45,798
差入保証金	84,695	85,597
繰延税金資産	5,890,668	6,063,002
その他	45,500	38,982
投資その他の資産合計	6,640,107	6,686,819
固定資産合計	22,378,679	22,451,980
資産合計	102,980,852	120,184,545

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,821,292	11,394,529
電子記録債務	8,910,255	9,551,128
短期借入金	17,404,112	36,386,966
1年内返済予定の長期借入金	2,300,000	1,200,000
リース債務	249,535	380,126
未払費用	1,427,419	1,306,804
未払法人税等	1,465,270	302,208
未払消費税等	99,794	155,762
前受金	10,675,352	8,644,784
賞与引当金	1,696,645	1,642,946
工事損失引当金	3,781,190	3,607,749
品質関連損失引当金	67,817	-
その他	2,657,953	2,376,776
流動負債合計	59,556,639	76,949,782
固定負債		
長期借入金	3,700,000	3,500,000
リース債務	641,442	794,172
退職給付に係る負債	7,070,783	7,282,672
損害補償損失引当金	921,541	987,196
長期未払金	322,265	253,902
繰延税金負債	52,703	43,320
固定負債合計	12,708,736	12,861,263
負債合計	72,265,376	89,811,045
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,359,893	5,359,893
資本剰余金	4,309,484	4,309,484
利益剰余金	20,413,755	20,483,085
自己株式	△30,968	△31,175
株主資本合計	30,052,165	30,121,288
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	166,007	104,663
繰延ヘッジ損益	50,597	-
為替換算調整勘定	121,844	△41,674
退職給付に係る調整累計額	△217,091	△339,306
その他の包括利益累計額合計	121,358	△276,318
非支配株主持分	541,951	528,529
純資産合計	30,715,475	30,373,500
負債純資産合計	102,980,852	120,184,545

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	84,068,168	91,535,360
売上原価	70,425,097	81,090,903
売上総利益	13,643,071	10,444,456
販売費及び一般管理費	9,321,739	8,636,882
営業利益	4,321,331	1,807,573
営業外収益		
受取利息	37,726	47,071
受取配当金	5,222	5,300
為替差益	325,162	-
受取保険金	-	52,110
助成金収入	111,409	195,413
その他	94,220	84,886
営業外収益合計	573,742	384,782
営業外費用		
支払利息	392,030	421,684
為替差損	-	111,896
持分法による投資損失	52,401	11,396
売掛債権譲渡損	148,086	126,958
支払補償費	975,465	266,108
その他	36,733	76,242
営業外費用合計	1,604,717	1,014,287
経常利益	3,290,356	1,178,069
特別利益		
投資有価証券売却益	211,377	-
受取保険金	-	60,000
特別利益合計	211,377	60,000
特別損失		
固定資産処分損	144,535	67,165
減損損失	82,817	15,125
災害損失	-	13,306
品質関連損失	247,824	244,243
特別損失合計	475,176	339,841
税金等調整前当期純利益	3,026,557	898,227
法人税、住民税及び事業税	1,746,537	360,986
法人税等調整額	△662,816	△95,911
法人税等合計	1,083,720	265,075
当期純利益	1,942,836	633,152
非支配株主に帰属する当期純利益	32,119	27,319
親会社株主に帰属する当期純利益	1,910,717	605,832

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	1,942,836	633,152
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,587	△61,344
繰延ヘッジ損益	△22,220	△50,597
為替換算調整勘定	205,081	△179,580
退職給付に係る調整額	△28,467	△122,215
持分法適用会社に対する持分相当額	△14,023	-
その他の包括利益合計	128,780	△413,738
包括利益	2,071,617	219,414
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,016,420	208,155
非支配株主に係る包括利益	55,197	11,258

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,359,893	4,367,993	19,039,542	△30,772	28,736,656
当期変動額					
剰余金の配当			△536,504		△536,504
親会社株主に帰属する当期純利益			1,910,717		1,910,717
自己株式の取得				△195	△195
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△58,508			△58,508
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	△58,508	1,374,213	△195	1,315,509
当期末残高	5,359,893	4,309,484	20,413,755	△30,968	30,052,165

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	177,595	72,818	△46,134	△188,623	15,656	801,550	29,553,862
当期変動額							
剰余金の配当							△536,504
親会社株主に帰属する当期純利益							1,910,717
自己株式の取得							△195
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動							△58,508
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△11,587	△22,220	167,978	△28,467	105,702	△259,598	△153,896
当期変動額合計	△11,587	△22,220	167,978	△28,467	105,702	△259,598	1,161,613
当期末残高	166,007	50,597	121,844	△217,091	121,358	541,951	30,715,475

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,359,893	4,309,484	20,413,755	△30,968	30,052,165
当期変動額					
剰余金の配当			△536,502		△536,502
親会社株主に帰属する当期純利益			605,832		605,832
自己株式の取得				△207	△207
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	69,329	△207	69,122
当期末残高	5,359,893	4,309,484	20,483,085	△31,175	30,121,288

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	166,007	50,597	121,844	△217,091	121,358	541,951	30,715,475
当期変動額							
剰余金の配当							△536,502
親会社株主に帰属する当期純利益							605,832
自己株式の取得							△207
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動							
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△61,344	△50,597	△163,519	△122,215	△397,676	△13,422	△411,098
当期変動額合計	△61,344	△50,597	△163,519	△122,215	△397,676	△13,422	△341,975
当期末残高	104,663	-	△41,674	△339,306	△276,318	528,529	30,373,500

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,026,557	898,227
減価償却費	2,280,576	2,821,169
減損損失	82,817	15,125
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	334	5,170
賞与引当金の増減額 (△は減少)	92,472	△53,699
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	161,277	△32,182
損害補償損失引当金の増減額 (△は減少)	717,789	65,654
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	1,714,014	△173,441
品質関連損失引当金の増減額 (△は減少)	67,817	△67,817
受取利息及び受取配当金	△42,949	△52,371
支払利息	392,030	421,684
為替差損益 (△は益)	206,092	△148,061
持分法による投資損益 (△は益)	52,401	11,396
固定資産処分損益 (△は益)	144,535	67,165
投資有価証券売却損益 (△は益)	△211,377	-
その他の営業外損益 (△は益)	△20,809	128,340
売上債権の増減額 (△は増加)	131,526	△9,428,402
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5,854,813	△3,657,149
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,653,356	3,270,353
立替金の増減額 (△は増加)	287,195	△287,682
前受金の増減額 (△は減少)	3,979,826	△2,260,409
その他	809,512	△961,384
小計	10,670,184	△9,418,313
利息及び配当金の受取額	61,627	52,372
利息の支払額	△391,868	△421,005
法人税等の支払額	△974,656	△1,498,599
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,365,287	△11,285,545

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,477,907	△2,080,690
有形固定資産の売却による収入	1,775	6,358
投資有価証券の取得による支出	△251,641	△952
投資有価証券の売却による収入	413,202	-
貸付けによる支出	△1,000	-
貸付金の回収による収入	2,472	2,427
定期預金の増減額 (△は増加)	△277,275	217,480
その他の支出	△361,024	△724,160
その他の収入	6,771	8,681
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,944,626	△2,570,856
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	63,989,859	80,002,386
短期借入金の返済による支出	△69,266,307	△60,860,423
長期借入れによる収入	1,500,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△900,000	△2,300,000
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△319,204	-
リース債務の返済による支出	△242,602	△327,624
自己株式の取得による支出	△195	△207
配当金の支払額	△535,872	△535,919
非支配株主への配当金の支払額	△54,100	△24,680
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,828,422	16,953,530
現金及び現金同等物に係る換算差額	54,696	24,071
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,646,935	3,121,200
現金及び現金同等物の期首残高	2,399,235	4,046,170
現金及び現金同等物の期末残高	4,046,170	7,167,370

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している在外連結子会社において、当連結会計年度より国際財務報告基準第16号「リース」を適用しております。

当該会計基準の適用が当連結会計年度の連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(表示方法の変更)

(1) 連結貸借対照表関係

前連結会計年度において、「無形固定資産」の「その他」に含めて表示しておりました「ソフトウェア」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より区分掲記しております。

(2) 連結損益計算書関係

前連結会計年度において、「営業外費用」の「その他」に含めて表示しておりました「売掛債権譲渡損」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より区分掲記しております。

(連結損益計算書関係)

(品質関連損失)

航空機シート等製造関連において、2019年3月26日に公表しました当社子会社における不適切な検査業務に関連する費用として品質関連損失 244,243千円を計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループにおける報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業本部と3つの事業部で構成され（航空機内装品・シート製造事業部、航空機器製造事業部、航空機整備事業部）各事業部は取り扱う製品・サービスについて、それぞれ独立した経営戦略を立案し、事業活動を展開しております。当社グループは事業部を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されておりますが、報告セグメントは「航空機内装品等製造関連」、「航空機シート等製造関連」、「航空機器等製造関連」及び「航空機整備等関連」の4つを報告セグメントとしております。

「航空機内装品等製造関連」は、旅客機用ギャレー(厨房設備)、ラバトリー(化粧室)等の製造及び販売を主体としております。「航空機シート等製造関連」は、旅客機用シート等の製造及び販売を主体としております。「航空機器等製造関連」は、熱交換器、航空機エンジン部品等各種航空機搭載機器、炭素繊維構造部材を主体とした製品製造と販売を行っております。「航空機整備等関連」は、リージョナル機、中小型飛行機、ヘリコプターなどの機体整備及び改造、並びにこれら航空機に搭載される装備品の修理などを行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則及び手続に準拠した方法であります。報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	航空機 内装品等 製造関連	航空機 シート等 製造関連	航空機器等 製造関連	航空機整備 等関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	56,869,081	12,175,486	6,597,312	8,426,252	84,068,132	36	84,068,168
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,311,849	208,466	11,326	38,725	1,570,368	108,634	1,679,002
計	58,180,930	12,383,953	6,608,639	8,464,977	85,638,500	108,670	85,747,171
セグメント利益 又は損失(△)	6,113,760	△3,143,327	110,642	210,190	3,291,265	△908	3,290,356
セグメント資産	61,166,700	21,525,508	11,079,310	9,176,804	102,948,323	32,529	102,980,852
その他の項目							
減価償却費	1,385,024	127,212	459,633	308,705	2,280,576	-	2,280,576
受取利息	35,036	951	938	800	37,726	-	37,726
支払利息	227,020	101,803	34,856	28,349	392,030	-	392,030
持分法投資利益又は損失(△)	18,442	-	-	△70,844	△52,401	-	△52,401
有形固定資産、無形固定資産及び長期前払費用の増加額	1,161,778	201,823	421,682	224,101	2,009,385	-	2,009,385

(注) 「その他」の区分には、関係会社の㈱オレンジジャムコの事業を含んでおります。㈱オレンジジャムコは企業の社会的責任の一つである障がい者の雇用促進のための特例子会社であり、当社工場内の補助的作業を行っております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	航空機 内装品等 製造関連	航空機 シート等 製造関連	航空機器等 製造関連	航空機整備 等関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	61,078,579	15,994,367	6,333,087	8,129,269	91,535,304	56	91,535,360
セグメント間の内部売 上高又は振替高	478,062	196,273	28,636	41,761	744,733	109,492	854,226
計	61,556,642	16,190,640	6,361,723	8,171,031	92,280,038	109,548	92,389,586
セグメント利益 又は損失(△)	3,107,854	△2,499,623	6,623	567,616	1,182,471	△4,402	1,178,069
セグメント資産	79,648,928	20,453,910	10,360,913	9,683,719	120,147,471	37,074	120,184,545
その他の項目							
減価償却費	1,823,373	235,737	438,488	323,569	2,821,169	-	2,821,169
受取利息	44,986	970	598	515	47,071	-	47,071
支払利息	262,123	102,336	31,202	26,021	421,684	-	421,684
持分法投資利益又は損 失(△)	-	-	-	△11,396	△11,396	-	△11,396
有形固定資産、無形固 定資産及び長期前払費 用の増加額	1,715,880	62,513	389,361	219,299	2,387,054	-	2,387,054

(注) 「その他」の区分には、関係会社の㈱オレンジジャムコの事業を含んでおります。㈱オレンジジャムコは企業の社会的責任の一つである障がい者の雇用促進のための特例子会社であり、当社工場内の補助的作業を行っております。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	85,638,500	92,280,038
「その他」の区分の売上高	108,670	109,548
セグメント間取引消去	△1,679,002	△854,226
連結財務諸表の売上高	84,068,168	91,535,360

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	3,291,265	1,182,471
「その他」の区分の損失(△)	△908	△4,402
連結財務諸表の経常利益	3,290,356	1,178,069

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	102,948,323	120,147,471
「その他」の区分の資産	32,529	37,074
連結財務諸表の資産合計	102,980,852	120,184,545

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	2,280,576	2,821,169	-	-	-	-	2,280,576	2,821,169
有形固定資産、無形固定資産及び長期前払費用の増加額	2,009,385	2,387,054	-	-	-	-	2,009,385	2,387,054

【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	北米		アジア・オセアニア		ヨーロッパ	合計
		内、米国		内、シンガポール		
20,241,274	35,706,941	34,954,784	20,249,391	11,406,829	7,870,561	84,068,168

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	米国	アジア・オセアニア	ヨーロッパ	合計
11,055,411	2,209,541	723,368	-	13,988,321

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
MITSUBISHI INTERNATIONAL CORP.	30,529,092	航空機内装品等製造関連
ITOCHU Singapore Pte, Ltd.	8,971,307	航空機内装品等製造関連及び 航空機シート等製造関連

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	北米		アジア・オセアニア		ヨーロッパ	合計
	内、米国		内、シンガポール			
21,963,709	39,906,292	39,151,817	15,307,167	7,888,193	14,358,190	91,535,360

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	米国	アジア・オセアニア	ヨーロッパ	合計
10,685,644	2,217,399	862,995	-	13,766,040

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
MITSUBISHI INTERNATIONAL CORP.	35,420,279	航空機内装品等製造関連
ITOCHU Singapore Pte, Ltd.	5,698,234	航空機内装品等製造関連及び 航空機シート等製造関連

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					その他	合計
	航空機 内装品等 製造関連	航空機 シート等 製造関連	航空機器等 製造関連	航空機整備 等関連	計		
減損損失	42,674	-	-	40,142	82,817	-	82,817

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					その他	合計
	航空機 内装品等 製造関連	航空機 シート等 製造関連	航空機器等 製造関連	航空機整備 等関連	計		
減損損失	-	-	-	15,125	15,125	-	15,125

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,124.82 円	1,112.58 円
1株当たり当期純利益	71.23 円	22.59 円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	潜在株式が存在しないため 記載していません。	潜在株式が存在しないため 記載していません。

(注) 1. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,910,717	605,832
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	1,910,717	605,832
普通株式の期中平均株式数(千株)	26,825	26,825

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2019年3月31日)	当連結会計年度末 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	30,715,475	30,373,500
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	541,951	528,529
(うち非支配株主持分(千円))	(541,951)	(528,529)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	30,173,524	29,844,970
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通 株式の数(千株)	26,825	26,825

(重要な後発事象)

該当事項はありません。